

press release

2011年8月29日

スタンダードチャータード銀行 「日印グローバル・パートナーシップ・サミット 2011」へ協賛

スタンダードチャータード銀行(本店:ロンドン、CEO:ピーター・サンズ/在日支店:東京都千代田区、CEO:クリストファー・R・ナイト)は、9月5日(月)~7日(水)に東京で開催される「日印グローバル・パートナーシップ・サミット2011」にトラックスポンサーとして参加し、同サミットを支援することを発表いたしました。これに伴い、初日のパネルディスカッションのスピーカーとして、当行グループ常務取締役兼アジア最高統括責任者のジャスパル・ビンドラが来日いたします。

「日印グローバル・パートナーシップ2011」は、両国のパートナーシップ発表から10年目を迎え、本年はアニバーサリーイヤーとしても節目を迎えています。本サミットは、NPO法人インドセンターのイニシアティブにより、両国の政府および主要企業・組織の協力の下、開催されます。日本とインドの各界リーダーたちが、「マクロ・ビジョン(大目標)」を達成するための「マイクロ・ロードマップ(着実な行動計画)」を進展させるための交流を目的としています。

3日間のサミット会期中、展示会の他、5つの分野に特化したフォーラム(ビジネス、学術、政策、青年・文化、NGO)が同時開催されます。今回のサミットでは、農業やエネルギー、製造業、医薬品、銀行、情報と通信技術などを含む、複数の業界を取り上げます。

本サミットへの当行のサポートは、日本とインドの絆をより深め、両国のますますの発展に寄与していきたいという願いでもあります。当行は、経済的な絆の強化、より広い地域での統合の促進、さまざまな領域を超えた多国間の経済協力の実現を目指し、本サミットに協賛しています。最もダイナミックな市場であるアジア・アフリカ・中東地域に注力した事業展開をする当行にとって、インドは特に重要なマーケットです。インドは当行最大の市場の一つであり、また、インド預託証券(IDR)の発行により、当行は国際銀行として初めてムンバイ証券取引所への上場を果たしました。今後も、両国間に既存するシナジーをさらに高め、社会経済および文化面での確固たる関係構築に向け、当行は重要な役割を担ってまいります。

スタンダードチャータード銀行在日総支配人 クリストファー・R・ナイトは次のように述べています。「当行のインド支店チームと共に、トラックスポンサーとして本サミットに協賛できることを喜ばしく思います。日本初の開催であり、当行にとっても特別な意味を持つサミットです。スタンダードチャータードは、日本では130年、そしてインドでは150年以上にわたり事業を展開しており、両国の金融の掛け橋として適切なパートナーであると自負しております。当行アジア最高統括責任者のジャスパル・ビンドラの来日、そして本サミットへの参加からも、その重要性を理解していただけるはずです。当行は日本とインドの2つの市場にコミットし、本サミットの成功を祈願しております。」

また、インド・南アジア地域担当ホールセール・バンキング部門共同代表 ヴェンカット・アナタラマンは、次のようにコメントしています。「スタンダードチャータードの日印グローバル・パートナーシップ・サミットへの支援は、当行が長きにわたって事業を展開している、2つの主要な市場での重要な機会を具現化したものです。このようなイベントに発展したサミットにて大きな役割を担えることは、当行にとって大変光栄であり、このパートナーシップは両大国の成長と発展に大きく貢献することでしょう。」

- サミット概要 -

名 称: 日印グローバル・パートナーシップ・サミット2011 ([URL:http://www.indiajapansummit.org/jp/](http://www.indiajapansummit.org/jp/))

日 程： 2011年9月5日（月）～7日（水）
会 場： ザ・プリンスパークタワー 東京（東京都港区）
主 催： NPO法人インドセンター 「日印グローバル・パートナーシップ・サミット2011」実行委員会
※当行ジャスパル・ビンドラの登壇は9月5日（月）16時30分～の予定です

ご参加等を含む本サミットへのお問い合わせは、下記までお願いいたします。

「日印グローバル・パートナーシップ・サミット2011」PR事務局（報道関係窓口）
株式会社サニーサイドアップ（内） 担当（敬称略）：宋（そん）、杉山、矢島、本田
Tel: 03-6894-3200 / Fax: 03-5413-3050

当行に関するお問い合わせは下記にて承ります。

スタンダードチャータード銀行
コーポレート・アフェアーズ部
Tel: 03-5511-1245 / Fax: 03-5511-9311
CA.japan@sc.com

スタンダードチャータード銀行—アジア・アフリカ・中東地域における先駆者として

スタンダードチャータード銀行の最終持ち株会社であるスタンダードチャータードPLCは、ロンドン証券取引所、ムンバイ証券取引所、ならびに香港証券取引所に上場し、時価総額ベースでFTSE100構成銘柄の上位20社にランキングされています。ロンドンに本拠地を置く当行グループは、創立以来150年以上の歴史を誇り、世界で最もダイナミックな市場—アジア・アフリカ・中東地域における先駆者として事業展開しています。グループの営業収益および税引き前利益については、7年にわたり継続して最高益を更新していますが、これは事業母体からの収益成長(オーガニック成長)によるものです。

また、スタンダードチャータード銀行は、各国市場のお客様に注力した世界最高の国際的銀行を目指しています。グループの営業収益および税引き前利益の約9割は、アジア・アフリカ・中東地域で事業展開するホールセールバンキングおよびコンシューマーバンキング両部門の事業収益から創出されています。また、世界70カ国以上で1,700余の店舗展開をするグローバル事業ネットワークを有し、その市場やビジネスにおける飛躍的な成長により国際的なキャリア構築の機会を生み出しているのです。当行グループでは、ステークホルダーである皆様の「真のパートナー」として長期的視野に立ったサステナビリティ(持続性)のある事業構築に取り組む傍ら、高いレベルでの企業統治(コーポレートガバナンス)を保持すると共に、社会的責任を果たし、環境保護と多様性のある人材育成にも力を注ぐことで、世界中の信頼を勝ち得ています。現在、125の国籍により構成される総勢75,000余名の行員(その約半数は女性)を擁し、上級管理職の国籍は約70に及んでいます。そして、新しいブランドプロミスである「Here for good」は、このような当行の伝統と企業価値を反映しています。

日本・アジア地域におけるスタンダードチャータード銀行について

日本におけるスタンダードチャータード銀行の歴史は、横浜にはじめての駐在員事務所を開設した1880年にさかのぼり、今年で131年目を迎えます。現在では、東京支店(千代田区・山王パークタワー)および丸の内支店(千代田区・岸本ビル)において約270名の従業員を擁しています。アジア・アフリカ・中東の各地域で投資事業を展開する日本の企業法人・金融法人のお客様向けにホールセール、カストディ、トレジャリー、トレードファイナンス等の金融サービスを提供するほか、2005年には個人のお客様向けに「プライオリティバンキング」部門を開設し、さらなる成長を続けています。

世界におけるスタンダードチャータードのウェブサイト(英語): www.standardchartered.com

日本におけるスタンダードチャータード銀行のウェブサイト(日本語): www.standardchartered.co.jp

日本におけるスタンダードチャータード銀行のウェブサイト(英語):

www.standardchartered.co.jp/index_english.html